

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 5 月 26 日 (2005.5.26)

【公開番号】特開 2002-152640 (P2002-152640A)
 【公開日】平成 14 年 5 月 24 日 (2002.5.24)
 【出願番号】特願 2000-340819 (P2000-340819)
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 N 5/76

H 0 4 N 5/85

【 F I 】

H 0 4 N 5/76 Z

H 0 4 N 5/85 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 7 月 23 日 (2004.7.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

映像情報を含む情報を記録する複数の記録ドライブと、

録画の予約が行われると、予約録画タスクの起動時に前記複数の記録ドライブの中の記録先ドライブが、他のタスクによりアクセスされているか判断する判断手段と、

前記録画先ドライブが、前記他のタスクによりアクセスされていると前記判断手段が判断した場合、前記記録先ドライブを同時アクセスしてリアルタイムでの録画が可能かを判定する判定手段、

前記記録先ドライブを同時アクセスしてリアルタイムでの録画が不可能と前記判定手段が判定した場合、前記記録先ドライブにアクセスしている前記他のタスクを停止させ、前記録画先ドライブを前記予約録画タスクによる録画可能状態とする停止処理手段と、
 を具備することを特徴とする録画再生装置。

【請求項 2】

前記停止処理手段は、記録先ドライブを現在使用している前記他のタスクを一時停止させる手段を有し、該録画再生装置は予約録画終了後、前記他のタスクを再開させる手段を更に具備することを特徴とする請求項 1 記載の録画再生装置。

【請求項 3】

前記停止処理手段は、現在記録先ドライブを使用している前記他のタスクを強制終了させる手段を具備することを特徴とする請求項 1 記載の録画再生装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

【課題を解決するための手段】

本発明の録画再生装置は、映像情報を含む情報を記録する複数の記録ドライブと、録画の予約が行われると、予約録画タスクの起動時に前記複数の記録ドライブの中の記録先ドライブが、他のタスクによりアクセスされているか判断する判断手段と、前記録画先ドラ

イブが、前記他のタスクによりアクセスされていると前記判断手段が判断した場合、前記記録先ドライブを同時アクセスしてリアルタイムでの録画が可能かを判定する判定手段、前記記録先ドライブを同時アクセスしてリアルタイムでの録画が不可能と前記判断手段が判定した場合、前記記録先ドライブにアクセスしている前記他のタスクを停止させ、前記録画先ドライブを前記予約録画タスクによる録画可能状態とする停止処理手段とを具備する。